

2019. 8. 15

畑 啓之

「終戦の日」 京都にも空襲があり、さらに原爆投下の計画もあったと

皇居が空襲を免れたのと同じ理由で、天皇に関係する京都や奈良は空襲を免れていたとの理解をしていたのであるが、こと戦争であるので、そんなに単純なものではなかったようだ。

事実、京都にも奈良に空襲があり、京都に至っては京都御所まで空襲を受けている。ただし、当時の大本営は徹底的に情報管制を敷いており、天皇のおひぎ元である京都御所が空襲を受けたなどの発表は控えていたので、この事実は案外知られていない。

さらに、京都に原爆を投下する計画があった。確かに、京都ならば戦果としては大きい。日本への原爆投下 (Wikipedia) には、「広島市が目標と決定されたのは 1945 年 5 月 10 日であり、長崎市は投下直前の 7 月 24 日に予備目標地として決定された。また、京都市や新潟市や小倉市 (現・北九州市、長崎市に投下された原子爆弾・ファットマンの当初目標地) などが候補地とされていた。」と記されている。

京都空襲 (Wikipedia) 昭和 20 年、終戦の年の

第 1 回 1 月 16 日 23 時 23 分頃、馬町空襲 (東山区馬町) 死者 36 名

第 2 回 3 月 19 日、春日町空襲 (右京区)

第 3 回 4 月 16 日、太秦空襲 (右京区) 死者 2 人、重傷者 11 人、軽傷者 37 人

第 4 回 5 月 11 日、**京都御所空襲** (上京区)

第 5 回 6 月 26 日早朝、西陣空襲 (上京区出水) 死者 50 人、重軽傷者 66 人

報道管制が敷かれたため被害の詳細は判明していない。

第 5 回の空襲以降、京都への空襲は停止された。**原爆投下目標だった**からとされる。何故京都に原爆が投下されなかったのかは、京都には世界的にも価値の高い文化遺産が多数存在したからと言われていたが、近年になってその説は有力ではないとも言われてきている。

(アメリカ軍の資料によれば、京都市内の梅小路機関車庫が原爆投下予定地点であった)

奈良空襲 (Wikipedia) 昭和 20 年の、

奈良市内への空襲

6 月 1 日、奈良市中心市街地法蓮町、法華寺町へ初空襲。国民学校生の児童 1 人が焼死。

6 月 26 日、生駒方面から飛来した B29 が奈良市の一条通り沿いを爆撃。

7 月 22 日、奈良駅付近に空襲、機銃掃射による負傷者が発生した。

日付不明、白毫寺町へ空襲が行われ、爆弾が投下された。被害未詳。